

第91号 平成21年(2009年) 神無月

郷土しりょうかん

わたりちょうりつきょうどしりょうかん
巨理町立郷土資料館

〒989-2351 巨理郡巨理町字西郷 140

Tel 0223-34-8701 Fax 0223-34-8709

E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp



オリジナル^{まがたま}勾玉^{かんせい}の完成！！

(夏休み子ども講座「勾玉を作ってみよう」)

次号の「郷土しりょうかん」は、12月に発行する予定です。
郷土資料館、図書館、各公共施設^{しせつ}の窓口^{まどぐち}に置^おきますのでご覧^{らん}ください。

企画展「遺跡でみる古代の巨理～古墳時代から三十三間堂官衙遺跡まで～」開催中

現在、国指定史跡三十三間堂官衙遺跡の発掘調査が進められており、遺跡の概要がしだいに明らかになってきました。古代の巨理を知る大きな手がかりにはなりますが、まだまだ謎が多く残されています。また、巨理町内には、ほかにも数多くの遺跡があります。そこで、これまで発掘調査が行なわれた町内の古代の遺跡について検証し、他町村の資料も交えながら巨理の古代を解き明かすきっかけとします。

今回は、古墳時代から奈良時代にかけての遺跡・史跡の紹介と、発掘調査の成果や出土資料を展示し、三十三間堂官衙遺跡が登場するまでの巨理の古代を探ることをねらいとして展示を行います。

以下、展示資料が出土した町内の遺跡について紹介します。

みやまえ

よしだ

宮前遺跡（巨理町吉田字宮前）



26号竪穴住居跡

昭和49年(1974)に発掘調査が行なわれ、古代の住居跡が54軒見つかри、この一帯が大きな集落であったことが分かりました。

住居跡は一辺が3mから大きなものは8mになるものもあり、また、中央に炉があるものと壁際に竈が設けられているものがありました。さらに、住居内から発見された土器の製作時期も含め、集落は古墳時代と平安時代に区分できることが分かりました。

宮前遺跡の出土資料は東北歴史博物館に保管されています。巨理町で展示をするのは初めてで、今回は26点の土器と調査時の貴重な写真を借りて展示しています。

さんじゅうさんげんどうがが

しもごおり つばきやま

三十三間堂官衙遺跡(巨理町逢隈下郡字椿山)



正殿跡

JR常磐線逢隈駅西側一帯に広がる遺跡で、南側には礎石が整然と並んでおり、古くから何らかの建物があつたことが分かっていました。昭和61～63年(1986～88)にかけて発掘調査が行なわれ、平安時代前半の役所である郡衙(郡家)跡ということが分かりました。遺跡の残りがよく、郡衙の全容を知る上で重要なことから国指定史跡になりました。

遺跡は山一帯に広がり、南側は礎石の倉庫が立ち並んだ倉庫院、北側は役人が執務を行なった実務官衙域になっています。平成14年(2002)からはじまった発掘調査では、正殿をはじめとする多くの遺構が発見され、全容が明らかになってきました。調査は現在も続けられ、将来は史跡公園になる予定です。

お知らせ

全館休館について

収集している資料の防虫・防カビのため、ガスくん蒸を行います。

人体に有害な物質を含むガスを使用いたしますので、郷土資料館のほか、2階図書館

5階展望ホールを含め、**11月9日(月)から13日(金)まで全館休館**となります。

郷土資料館は14日(土)も休館です。

文化財保存のためですので、どうかご了承承ください。



講座実施報告

夏休み子ども講座「勾玉を作ってみよう」

8月22日(土)、郷土資料館学習室において小学生対象の体験講座を開催しました。

今年は定員をはるかに上回る参加申し込みがあったため、午前・午後の2回にわたっての実施となりました。

勾玉を身につけた意味やどんなところで見つかるのかなどの説明を聞いた後、勾玉を作りました。博物館学芸員の資格取得のため、郷土資料館で実習中だった大学生2人の指導のもと、参加者は水の中で滑石を削る作業に熱心に取り組んでいました。

ひもを通して完成した勾玉のできればは本物さながらで、52名の参加者のみなさんとも満足していました。



移動しりょうかん「昔のさまざまな道具」

9月17日(木)、亘理小学校に学芸員の派遣と収蔵資料の貸し出しを行いました。

4年生の社会科「亘理用水」に関する学習会の一環として実施しているもので、3年目となる今年は120名の児童が参加しました。

郷土資料館は、亘理用水についてのワークショップ6コーナーのうち「昔のさまざまな道具」を担当しました。収蔵資料の中から、用水を作ったときの道具(土をほる - スコップ、土しゃを運ぶ - 天秤棒、もっこ、土しよいばこ)のほか、農作業の道具(犁、足踏み脱穀機)を展示しました。写真パネルを使って、道具の使い方を説明した後、実際にもっこや足踏み脱穀機を使った体験学習を行いました。

体育館の中は活気にあふれ、当時の人びとの苦労について話し合う声がきかれました。



オープンミュージアム



11月3日(土)の「文化の日」を記念して、郷土資料館を特別に開館し、常設展示、企画展示の観覧料を無料にするほか、普段見せない資料館の裏側資料を保管している収蔵庫や資料をガスクン蒸をするくん蒸庫 - の見学会を行います。

また、収蔵資料を使ったり、折り紙をする体験コーナーを設けます。すべて無料で参加いただけます。この機会にぜひ郷土資料館にご来館ください。

入館時間 9:00~16:00

- ・ 展示無料開放 9:00~16:30
- ・ 収蔵庫見学会 11:00~11:30
13:00~13:30
- ・ 各体験コーナー 9:00~16:30

先着100組に、手作りの「入館記念プレゼント」を用意しています。




郷土資料館カレンダー

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
						
4	5	6 企画展 開始	7	8	9	10
11	12 体育 の日	13 振替 休日	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30 資料 整理日	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 オープン ミュージ アム	4	5	6	7
8	9 くん蒸 期間	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22 企画展 最終日	23 勤労感 謝の日	24 振替 休日	25	26	27 資料 整理日	28
29	30					

開館時間 9:00 ~ 16:30(入館は 16:00 まで)
は休館日

どこでもパスポート以外のパスポート利用日

利用状況

Thank you Thank you Thank you Thank you Thank you

H 21. 8. 1 ~ 9. 30

常設展

資料館を開館した日..... 48日間

観覧者数

個人..... 716人

団体..... 58人

合計..... 774人 (1日平均16人)

どこでもパスポート利用者

利用日数..... 48日

利用者数

町内..... 206人

町外..... 66人

合計..... 272人(利用日平均6人)



おわりに

11月15日には、三歳の男女、五歳の男子、七歳の男女が晴れ着で着飾って、正装した両親と神社に詣でる光景があちこちで見られます。ご存知のように、「七五三」は子どもの健やかな成長を神に祈る行事です。昔は医療が未発達で衛生状態もよくなかったため乳幼児の死亡率が高く、健康に成長する子どもは幸運だとされました。また「七つ前は神のうち」といわれ、七歳になるとはじめて地域社会の一員として認められ、地域の神社の氏子となることができました。

「七五三」のほかにも、人が生まれてから年老いて亡くなるまでには、年齢に応じたさまざまな「通過儀礼」があります。そして、時代とともに人々の意識や社会構造が変化しても、根強く残っているものも多いのです。その意義を理解し、生活の中に自然な形で取り込みながら、次の世代に伝えていきたいものですね。

